

第198回 まちづくり町民講座

ニセコ高校の 振興を考える

～ 寄宿舎について ～

世の中には多様な人がいて、それぞれに活躍することで社会は発展してきました。高校は多様な生徒たちが社会へ出る出発点として、さまざまなニーズに対応して学科や体制を生み出し、変化させてきました。

ニセコ高校は農業人口が減るなか、緑地観光科を設けるなど社会や地域のニーズに対応してきました。しかしながら、少子高齢化の中、今後も就学者は減っていくこととなります。地域において学校の存在は大切なもので、学校を存続させていくためには、一定の生徒数を確保することが必要です。

そのためには、広く地域外からの生徒がニセコ高校を通えるような学校づくりが大切です。教育課程や校風などの魅力づくりとともに、寄宿舎は受け入れの基盤となるものです。

現在の寄宿舎は建築から30年が経過し、老朽化しているとともに今後は定員不足になることが予想されています。将来のことを考えたとき、どのような寄宿舎が望ましいのか、みんなで考えたいと思います。

なお、今回は北海道大学 大学院工学研究院 建築計画学研究室の協力により生徒アンケートや事例研究等を行っています。当日は学生からの報告も予定しています。

この講座はどなたでも参加できます。みなさんの参加をお待ちしています。

[日時]

令和3年7月14日(水) 午後6時～

[場所]

ニセコ町民センター 2F 研修室1

事前の参加申込みは必要ありません。当日、会場へ直接お越しください。



[問合せ先]

教育委員会学校教育課
TEL0136-44-2101

kyouiku@town.niseko.lg.jp

担当：山崎・前原